



# 平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月8日

上場取引所 名

上場会社名 太陽化学株式会社

コード番号 2902 URL <http://www.taivokagaku.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 長宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務担当兼業務支援担当兼 (氏名) 増川 尚利

企業統括部長

TEL 059-340-0802

四半期報告書提出予定日 平成28年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	10,058	2.2	787	14.2	439	△43.0	285	△46.9
28年3月期第1四半期	9,837	5.6	689	34.8	770	59.1	537	91.8

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 77百万円 (△89.9%) 28年3月期第1四半期 773百万円 (128.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	15.57	—
28年3月期第1四半期	27.59	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	42,123	33,625	77.7
28年3月期	41,731	33,950	79.0

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 32,728百万円 28年3月期 32,973百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	10.00	—	22.00	32.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,000	△1.9	1,500	△1.2	1,200	△19.6	700	△30.6	38.16
通期	40,000	1.3	3,000	9.2	2,700	11.6	1,600	△20.2	87.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P4 「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P4 「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	23,513,701 株	28年3月期	23,513,701 株
29年3月期1Q	5,168,165 株	28年3月期	5,168,165 株
29年3月期1Q	18,345,536 株	28年3月期1Q	19,496,673 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、政府・日銀の経済対策や金融緩和政策等により、企業収益の改善や雇用情勢の改善がみられ、緩やかな回復基調で推移しました。一方、海外は中国の景気減速の懸念や原油安の影響、米国の利上げ予測や英国のEU離脱による為替相場の変動など依然として不透明な経営環境となりました。

当事業の主要分野であります食品業界におきましては、節約志向の継続により個人消費が伸び悩む中、穀物相場の変動、商品の安全性確保など企業を取り巻く事業環境は、依然として厳しい状況が続いております。

このような環境の中で当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）は、引き続き対処すべき課題として

- ①市場変化への対応
- ②販売の強化（グローバル化）
- ③品質管理体制の維持・強化
- ④環境への取り組み
- ⑤人材育成
- ⑥業務改善による全体最適化

を掲げ、企業価値の向上に取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、100億58百万円（前年同四半期比2.2%増）となりました。

営業利益は、化粧品・トイレタリー用途の乳化剤及び飲料・サプリメント用途の機能性食品素材の売上が増加したこと等により7億87百万円（前年同四半期比14.2%増）となりました。経常利益は、為替相場の変動による為替差損の計上等により4億39百万円（前年同四半期比43.0%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、2億85百万円（前年同四半期比46.9%減）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントの状況は次のとおりであります。

■ ニュートリション事業

医療、健康食品及び飲料業界等にカテキン（緑茶抽出物）、テアニン（機能性アミノ酸）、水溶性食物繊維等の機能性食品素材、ミネラル製剤、ビタミン製剤等を製造、販売しております。

水溶性食物繊維は、国内の医療用途は増加しましたが、米国市場のサプリメント用途が減少したため、前年を下回りました。

カテキン（緑茶抽出物）は、国内の飲料用途は増加しましたが、欧米市場のサプリメント用途が減少したため、前年を下回りました。

ミネラル製剤は、国内市場、アジア・欧州市場が増加したため、前年を上回りました。

テアニン（機能性アミノ酸）は、国内市場の飲料・サプリメント用途が増加したため、前年を上回りました。

ビタミン製剤は、国内市場が減少したため、前年を下回りました。

この結果、売上高は、18億16百万円（前年同四半期比0.3%減）、営業利益は、3億47百万円（前年同四半期比21.0%増）となりました。

■ インターフェイスソリューション事業

乳製品、飲料、菓子、パン、加工油脂等の業界、及び化粧品、トイレタリー業界等に、乳化剤、安定剤等の食品素材、品質改良剤を製造、販売しております。

乳化剤は、一般食品用途及び飲料用途は前年並みとなりましたが、化粧品、トイレタリー用途が増加したため前年を上回りました。

安定剤は、医療食用途が増加したため、前年を上回りました。

この結果、売上高は、33億39百万円（前年同四半期比3.5%増）、営業利益は、4億4百万円（前年同四半期比3.5%増）となりました。

■ アグリフード事業

乳製品、飲料、菓子、パン、ハム・ソーセージ、即席めん、農産加工業界等に、鶏卵加工品、たん白素材、即席食品用素材、フルーツ加工品、農産加工品等の食品素材、品質改良剤を製造、販売しております。

鶏卵加工品は、液卵加工品は前年並みとなりましたが、粉末卵が減少したため、前年を下回りました。

即席食品用素材は、アジア市場の売上が増加したため前年を上回りました。

フルーツ加工品は、冷菓用途が増加したため、前年を上回りました。

この結果、売上高は、48億49百万円（前年同四半期比1.9%増）、営業利益は、33百万円（前年同四半期比165.2%増）となりました。

■ その他

料理飲食等の事業を行なっております。

売上高は、53百万円（前年同四半期比73.2%増）、営業利益は、2百万円（前年同四半期は、1百万円の営業損失を計上）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が前連結会計年度末に比較して3億91百万円増加して、421億23百万円となりました。主な資産の変動は、受取手形及び売掛金の増加8億2百万円、投資その他の資産のその他の増加2億90百万円、原材料及び貯蔵品の減少6億51百万円です。

負債は前連結会計年度末に比較して7億17百万円増加して84億97百万円となりました。主な負債の変動は、支払手形及び買掛金の増加6億2百万円、流動負債のその他の増加2億24百万円、賞与引当金の減少1億14百万円です。

純資産は、前連結会計年度末に比較して3億25百万円減少して336億25百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益2億85百万円の計上、その他有価証券評価差額金の増加1億5百万円、為替換算調整勘定の減少2億48百万円、配当金の支払による減少4億3百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の79.0%から77.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間における実績を踏まえ、平成28年5月9日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正しております。

平成29年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成28年4月1日～平成28年9月30日）（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想（A） （平成28年5月9日）	20,000	1,500	1,500	900	49円06銭
今回修正予想（B）	20,000	1,500	1,200	700	38円16銭
増減額（B－A）	－	－	△300	△200	－
増減率（％）	－％	－％	△20.0％	△22.2％	－
（ご参考）前期第2四半期実績 （平成28年3月期第2四半期）	20,384	1,518	1,493	1,008	51円97銭

平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A） （平成28年5月9日）	40,000	3,000	3,000	1,800	98円12銭
今回修正予想（B）	40,000	3,000	2,700	1,600	87円21銭
増減額（B－A）	－	－	△300	△200	－
増減率（％）	－％	－％	△10.0％	△11.1％	－
（ご参考）前期実績 （平成28年3月期）	39,492	2,746	2,419	2,005	104円55銭

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### （税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

### （2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

#### （平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	5,187,371	5,223,326
受取手形及び売掛金	9,761,368	10,564,334
商品及び製品	3,341,061	3,352,665
仕掛品	393,695	381,029
原材料及び貯蔵品	3,638,496	2,987,362
その他	569,306	525,675
貸倒引当金	△25,261	△26,329
流動資産合計	22,866,037	23,008,065
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	4,884,047	4,894,037
土地	6,038,454	6,036,318
その他(純額)	2,474,946	2,338,546
有形固定資産合計	13,397,448	13,268,903
<b>無形固定資産</b>		
のれん	45,118	41,055
その他	225,399	207,954
無形固定資産合計	270,518	249,009
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	3,739,249	3,847,871
その他	1,475,261	1,766,135
貸倒引当金	△17,450	△16,950
投資その他の資産合計	5,197,061	5,597,057
固定資産合計	18,865,028	19,114,969
資産合計	41,731,066	42,123,034

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,005,652	5,608,582
未払法人税等	122,603	125,561
賞与引当金	240,825	126,424
その他	1,450,901	1,675,426
流動負債合計	6,819,984	7,535,994
固定負債		
退職給付に係る負債	193,371	193,299
役員退職慰労引当金	362,874	362,874
その他	403,917	405,788
固定負債合計	960,163	961,962
負債合計	7,780,147	8,497,956
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,730,621	7,730,621
資本剰余金	7,918,674	7,918,674
利益剰余金	20,688,701	20,570,538
自己株式	△4,612,549	△4,612,549
株主資本合計	31,725,447	31,607,284
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,106,805	1,212,605
繰延ヘッジ損益	△10,096	2,308
為替換算調整勘定	203,602	△45,295
退職給付に係る調整累計額	△51,826	△48,359
その他の包括利益累計額合計	1,248,485	1,121,258
非支配株主持分	976,985	896,534
純資産合計	33,950,918	33,625,077
負債純資産合計	41,731,066	42,123,034



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	9,837,764	10,058,123
売上原価	7,668,389	7,833,100
売上総利益	2,169,374	2,225,022
販売費及び一般管理費	1,479,457	1,437,048
営業利益	689,917	787,974
営業外収益		
受取利息	10,921	8,304
受取配当金	18,697	17,709
為替差益	70,813	-
その他	16,208	6,484
営業外収益合計	116,640	32,499
営業外費用		
支払利息	4,312	5,945
貸与資産減価償却費	1,543	1,584
為替差損	-	361,610
持分法による投資損失	13,428	7,853
租税公課	15,648	-
その他	1,223	4,193
営業外費用合計	36,156	381,186
経常利益	770,402	439,287
特別利益		
固定資産売却益	740	-
関係会社出資金譲渡益	85,526	-
特別利益合計	86,267	-
特別損失		
固定資産除売却損	3,284	13,209
特別損失合計	3,284	13,209
税金等調整前四半期純利益	853,385	426,077
法人税等	273,454	115,362
四半期純利益	579,930	310,715
非支配株主に帰属する四半期純利益	42,065	25,070
親会社株主に帰属する四半期純利益	537,865	285,644

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	579,930	310,715
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	122,254	100,984
為替換算調整勘定	60,021	△338,006
退職給付に係る調整額	857	3,466
持分法適用会社に対する持分相当額	10,800	806
その他の包括利益合計	193,933	△232,748
四半期包括利益	773,864	77,966
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	713,132	158,418
非支配株主に係る四半期包括利益	60,732	△80,451

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ニュー トリション 事業	インター フェイス ソリューション 事業	アグリ フード 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,821,596	3,224,640	4,760,529	9,806,766	30,997	9,837,764
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,821,596	3,224,640	4,760,529	9,806,766	30,997	9,837,764
セグメント利益 又は損失(△)	287,567	391,055	12,448	691,070	△1,153	689,917

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、料理飲食等の事業であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ニュー トリション 事業	インター フェイス ソリューション 事業	アグリ フード 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,816,283	3,339,091	4,849,074	10,004,449	53,673	10,058,123
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,816,283	3,339,091	4,849,074	10,004,449	53,673	10,058,123
セグメント利益	347,937	404,772	33,010	785,719	2,254	787,974

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、料理飲食等の事業であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。